

全国植樹祭第5回福島県準備委員会 議事概要

1 日 時

平成27年1月30日(金) 14:00～15:30

2 場 所

福島テルサ3階「あぶくま」

3 内 容

議題1 南相馬市における式典会場の候補地について(報告)

→質問等はなかった。

議題2 第69回全国植樹祭基本構想(案)について

→事務局案のとおり承認された(一箇所事務局で修正)。基本構想は第69回全国植樹祭福島県実行委員会に引継ぎ、内容を基本計画に反映していく。

議題3 サテライト会場の選定等(案)について

→事務局案のとおり、サテライト会場にふくしま県民の森、PR会場に福島市、郡山市、会津若松市、白河市を選定することで承認された。関連事業の会場についてはいわき方部での開催に向け主催団体に調整を行っていくことで承認された。

議題4 その他

4 質疑等

議題1 南相馬市における式典会場の候補地について(報告)

(特になし)

議題2 第69回全国植樹祭基本構想(案)について

○ 委員

基本構想p.4の1.13に「震災前までの親しみやすい森林環境を取り戻す」とあるが、これは震災前の状態に戻すというニュアンスになる。実際に今海岸防災林を建設しているところだが、これは従来の海岸防災林よりもさらに幅を広げて以前よりも優れたものにするという形で進んでおり、しかもそういう場所で植樹祭を開催するのだから、単に元に戻すというニュアンスでは不十分ではないか。

● 事務局

事務局としては、森林を震災前の状態に戻すというよりも、森林に親しみやすい環境を取り戻すという意味で記載していた。御意見のとおり森林の状態そのものの機能強化を図る面もある。前段の方で海岸防災林の復旧について触れているので、機能の高い森林にするというニュアンスの表現を追加したい。

○ 委員

了解。

議題3 サテライト会場の選定等(案)について

○ 委員

いわき市がPR会場に入らなかったのは全国林業後継者大会をやるからか。いわき市には被災して避難している方がたくさんいる。その人たちが植樹祭に参加するにはPR会場がなければなかなか参加できないのではないかと。いわき市にもPR会場を設ければよいのではないかと。

● 事務局

PR会場は県内の方々が立ち寄りやすいことが条件だ。全国林業後継者大会にPRの効果を持たせることができると考えている。いわき市からの要望、地域のバランスを考慮して案を出した。

- 委員
PR会場もつくればよいのではないか。
- 事務局
サテライト会場、式典会場でもおもてなし広場を設けて県内の物産など紹介する。全国林業後継者大会でもPR、おもてなしをする。全国林業後継者大会でPR会場以上の内容を行うことが可能だ。
- 委員
位置づけとしてPR会場以上の内容になるのであれば、全国林業後継者大会はPR会場も兼ねるといふ形の方が誤解がなくよいのではないか。
- 事務局
会場が決まったらPRもできるように調整していきたい。補足だが、PR会場は全国植樹祭当日に行う。平成30年に向けて様々な記念事業を行っていく。その中でも避難している方に知ってもらえるような取組みもしていきたい。
- 委員
サテライト会場、式典会場への天皇陛下の移動を考えた場合、距離的に十分可能なのか考慮に入れてあるか。
- 事務局
陛下は式典会場でお手植え・お手播きしていただく。サテライト会場には行かない。サテライト会場では大型スクリーンで式典の様子を放映する。
- 委員
了解。他県では陛下がお手播き会場、お手植え会場を移動していて大変そうだったので気になった。

議題4 その他

- 委員
基本構想は議会で正式決定になるのか。実行委員会に準備委員会の内容は引き継がれるのか。
- 事務局
基本構想は、本準備委員会で決定する。実行委員会に基本構想を引継ぎ、実行委員会設立時に準備委員会でどのような議論があったか等説明する。基本計画、実施計画は共催の国土緑化推進機構や宮内庁との協議、国土緑化推進機構での特別委員会で審議がある。基本構想は県の独自の取組である。
- 委員
昨日防災林の調査で相馬に霊山経由で行ったところ、工事の進捗がかなりハイスピードだった。国へ早めに常磐自動車道の開通できるよう相馬から山形に抜ける道路について陳情してみてもどうか。
- 事務局
工事の進捗について、福島から相馬を結ぶ区間は、平成30年開催までに、霊山ICから相馬ICまでつながるかその手前まで完成することが公表されている。東北自動車道から霊山ICまでは、工事については着手されているが、正式にいつまでに完成かは発表されていない。事務局としても早い開通を望んでいる。

以上により閉会。

(以上)